

兵庫県における梅毒の届出状況

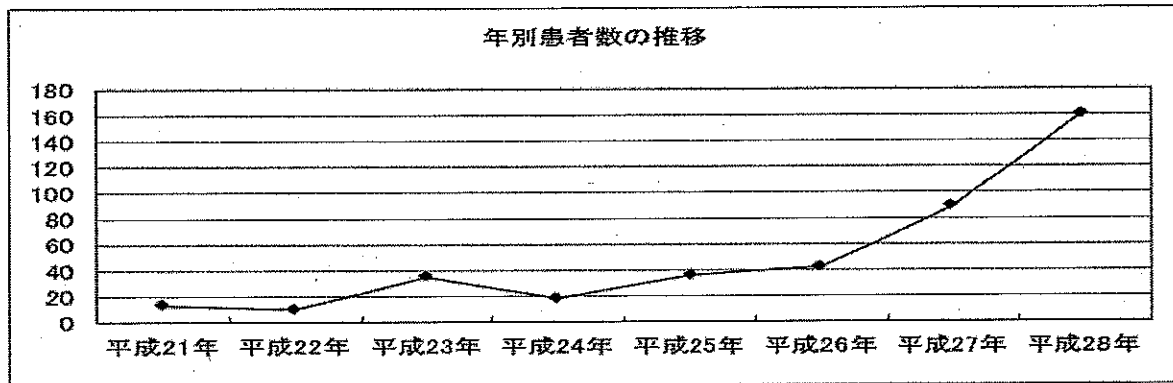
(※平成28年については、第47週(11月27日)までの暫定値)

1 年別患者数の推移

年	患者数(人)
平成21	12
平成22	12
平成23	35
平成24	18
平成25	36
平成26	42
平成27	89
平成28	160

○年別患者数の推移は、平成22年まで減少傾向にあったが、平成23年に35人と急増、平成24年は18人と減少したが、その後増加を続けている。

平成28年は第47週(平成28年11月27日)までの暫定報告数が160人と、前年の89人を大きく上回る患者数となっている。

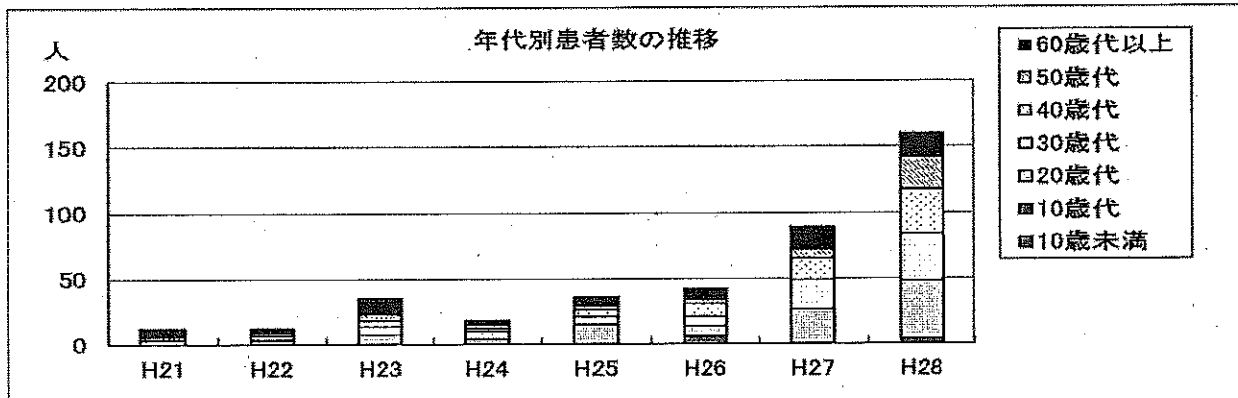


2 年代別患者数の推移

年	10歳未満(人)	10歳代(人)	20歳代(人)	30歳代(人)	40歳代(人)	50歳代(人)	60歳代以上(人)
平成21			2	1	1	2	6
平成22			3	1	3	2	3
平成23			8	6	4	5	12
平成24		1	3	6	2	3	3
平成25		1	14	6	5	3	7
平成26	1	5	8	7	10	3	8
平成27		1	25	23	16	7	17
平成28	1	3	44	36	33	25	18

○平成28年の年代別患者数は、20～40歳代で、全体の3/4を占めている。

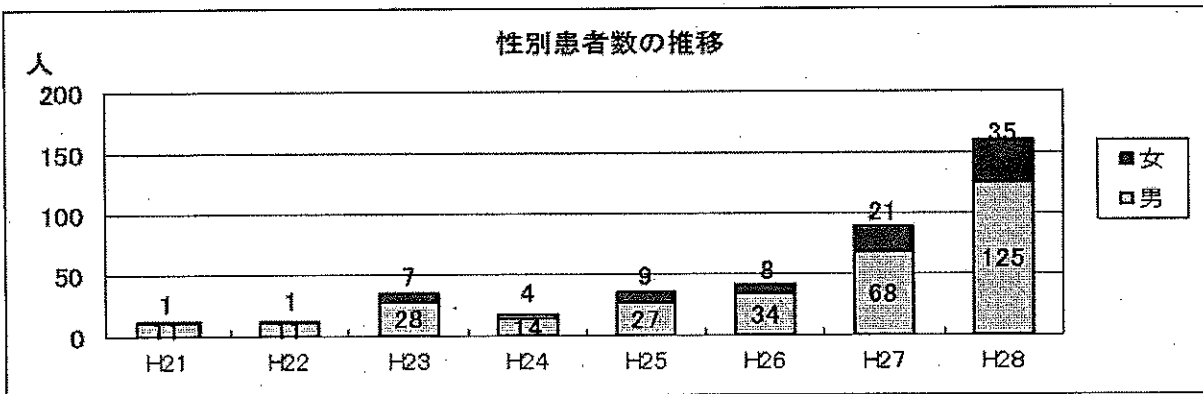
○10歳代での届出も3件。



3 性別患者数の推移

年	男(人) [%]	女(人) [%]
平成 21	11 [91.7]	1 [8.3]
平成 22	11 [91.7]	1 [8.3]
平成 23	28 [80.0]	7 [20.0]
平成 24	14 [77.8]	4 [22.2]
平成 25	27 [75.0]	9 [25.0]
平成 26	34 [81.0]	8 [19.0]
平成 27	68 [76.4]	21 [23.6]
平成 28	125 [78.1]	35 [21.9]

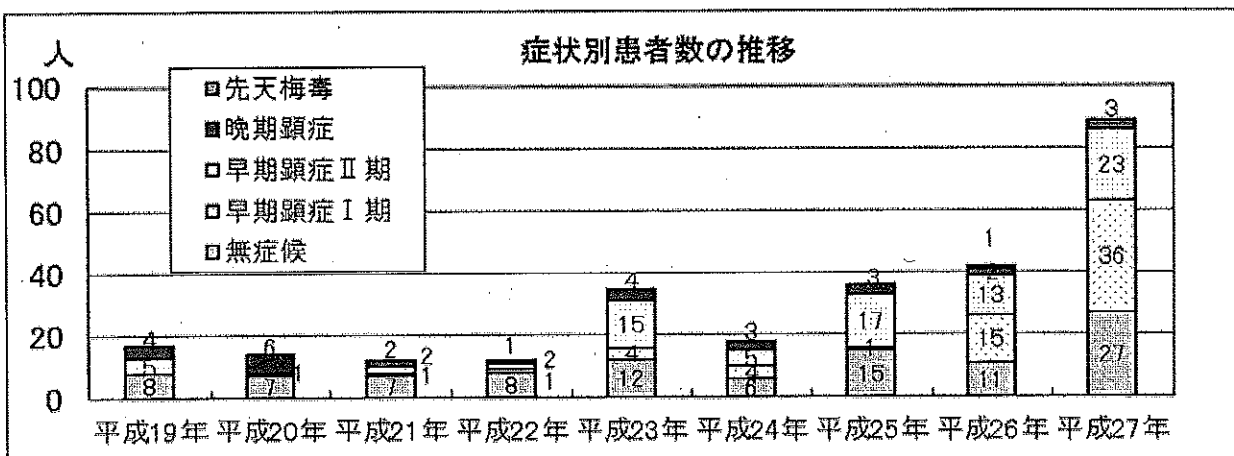
- 患者の性別は男性が多数を占めている。
- 女性が 1/5 を占めており、患者数も増加傾向にある。梅毒に罹患している女性が妊娠すると、早産や死産になったり、胎児に重篤な異常をきたすことがあるため注意が必要。



4 症状別患者数の推移

年	無症候 (人) [%]	早期顕症Ⅰ期 (人) [%]	早期顕症Ⅱ期 (人) [%]	晩期顕症 (人) [%]	先天梅毒 (人) [%]
平成 21	7 [58.4]	1 [8.4]	2 [16.7]	2 [16.7]	0 [0.0]
平成 22	8 [66.7]	1 [8.4]	2 [16.7]	1 [8.4]	0 [0.0]
平成 23	12 [34.3]	4 [11.5]	15 [42.9]	4 [11.5]	0 [0.0]
平成 24	6 [33.4]	4 [22.3]	5 [27.8]	3 [16.7]	0 [0.0]
平成 25	15 [41.7]	1 [2.8]	17 [47.3]	3 [8.4]	0 [0.0]
平成 26	11 [26.2]	15 [35.8]	13 [31.0]	2 [4.8]	1 [2.4]
平成 27	27 [30.3]	36 [40.4]	23 [25.8]	3 [3.4]	0 [0.0]
平成 28	29 [18.2]	72 [45.0]	52 [32.5]	6 [3.8]	1 [0.7]

- 平成 28 年の症状別患者数は、早期顕症Ⅰ期が 45.0% と最も多くなっている。
- 先天性梅毒の報告が 1 件、今後も注意が必要。



5 感染経路別患者数の推移

年	性的接触 (異性間) (人) [%]	性的接触 (同性間) (人) [%]	性的接触 (異・同性間) (人) [%]	性的接触 (性別不明) (人) [%]	針等の鋭 利なもの の刺入に よる感染 (人) [%]	母子感染 (人) [%]	不明 (人) [%]
平成 21	4[33.4]	0 [0.0]	0 [0.0]	6[50.0]	1[8.4]	0 [0.0]	1[8.4]
平成 22	3[25.0]	1 [8.4]	0 [0.0]	2[16.7]	1[8.4]	0 [0.0]	5[41.7]
平成 23	14[40.0]	6[17.2]	0 [0.0]	3[8.6]	0 [0.0]	0 [0.0]	12[34.3]
平成 24	7[38.9]	4[22.3]	0 [0.0]	1[5.6]	0 [0.0]	1 [5.6]	5[27.8]
平成 25	5[13.9]	9[25.0]	0 [0.0]	10[27.8]	1[2.8]	0 [0.0]	11[30.6]
平成 26	22[52.4]	7[16.7]	0 [0.0]	4[9.5]	0[0.0]	1 [2.4]	8[19.0]
平成 27	49[55.1]	7[7.9]	1 [1.1]	12[13.5]	0[0.0]	0 [0.0]	20[22.5]
平成 28	108[67.5]	5[3.2]	1 [0.7]	29[18.2]	0[0.0]	1 [0.7]	16[10.0]

○感染経路は、平成 22 年以降同性間性的接触による患者数の占める割合が増加していたが、平成 26 年以降は異性間性的接触による感染が半数以上を占めている。

